



®環境省

エコアクション21

認証・登録事業者 20200101

エコアクション 21 経営環境レポート

第 34 期 (2023 年 11 月～2024 年 10 月)



株式会社 **中島自動車電装**

発行日: 2025 年 2 月 20 日

【目次】

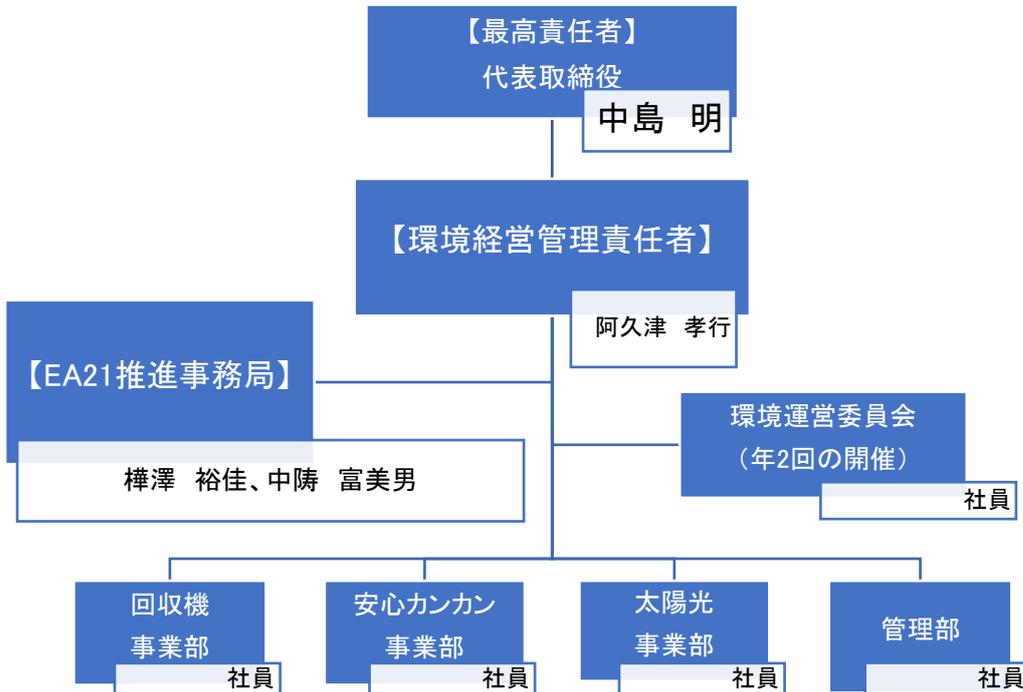
① 組織概要	3
② 組織体制	4
③ 環境経営方針	5
④ 環境経営目標とその実績	6
⑤ 目標の実績と今後の推移 グラフ	7.8.9
⑥ 当社の太陽光発電所の稼働状況	10
⑦ 環境経営計画の取組と評価	11
⑧ 環境関連法規などの遵守	12
⑨ 代表者による全体評価	13

① 組織概要

事業者	株式会社 中島自動車電装
代表者	中島 明
所在地	前橋センター：群馬県前橋市駒形町 1506 番地
環境経営管理責任者	阿久津 孝行
担当者	EA21推進事務局：樺澤 裕佳、中隲 富美男
担当者連絡先	前橋センター TEL:027-226-6156 FAX:027-226-6157
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・フロン回収機／HC冷媒処理装置の製造、販売、メンテナンス・スプレー缶・カセットボンベ・ライター処理装置「安心カンカン」の製造、販売、メンテナンス、レンタル・太陽光発電事業
事業の規模	<ul style="list-style-type: none">・資本金 1,000 万円・従業員数 33 名・敷地面積 前橋センター 5,882.12 m²・売上高 94,462 万円(2024 年 10 月期)
対象範囲	株式会社中島自動車電装 全組織及び全活動
主要取引先	地方自治体およびその一部事務組合、廃棄物処理業界 家電リサイクルプラント、自動車リサイクル業界
事業年度	2023 年 11 月 ～2024 年 10 月

②組織体制

改訂日 2025 年 1 月 17 日



職名	役割
【最高責任者】 中島 明	① 環境経営管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 ② 該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ③ エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 ④ 環境経営方針を制定する。 ⑤ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改定を指示する。
【環境経営管理責任者】 阿久津 孝行	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境経営委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
【EA21 推進事務局】	① 事務局として環境経営管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
【環境経営委員会】	① 最高責任者、環境経営管理責任者、事務局、部門長で構成し、環境経営管理責任者が招集し、年 2 回開催する。環境経営管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。 ② 環境経営目標、環境経営計画の策定及び進捗について協議する。

③環境経営方針

【基本理念】

(株)中島自動車電装は、現在世界各地で起こっている地球温暖化による異常気象の被害等を目の当たりにし、脱炭素社会の実現や、健康で暮らせる自然の豊かな美しい地球を守ることが、重要課題のひとつと認識し、地球環境保全に配慮した事業活動に努めます。

【行動指針】～ この環境経営方針は、社内外に公表します ～

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社の主力事業である、フロン回収機、スプレー缶・カセットボンベ・ライター処理装置「安心カンカン」の設計・開発・製造・販売及びサービス・メンテナンスの各工程において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに循環型社会の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減の為、社用車に自社の太陽光発電の電力を使用し、化石燃料削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③水は、使用量削減のため節水に努めます。太陽光パネル洗浄の際は雨の日に行い節水の工夫をします。
 - ④作業場内・事務所内の整理整頓を行い安全で働きやすい環境を作ることで生産性をあげ、環境機器の販売実績を伸ばし、環境保全に貢献します。
2. 太陽光発電を拡大し、CO2 削減に貢献します
3. 環境経営活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営活動計画を策定し取り組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
4. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
5. 安全衛生活動を通じ、研修や訓練により社員全体の意識を高める努力をします。
6. 環境経営管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2007 年 8 月 1 日

改定日 2025 年 2 月 20 日

株式会社 中島自動車電装 代表取締役 中島 明

④環境経営目標とその実績

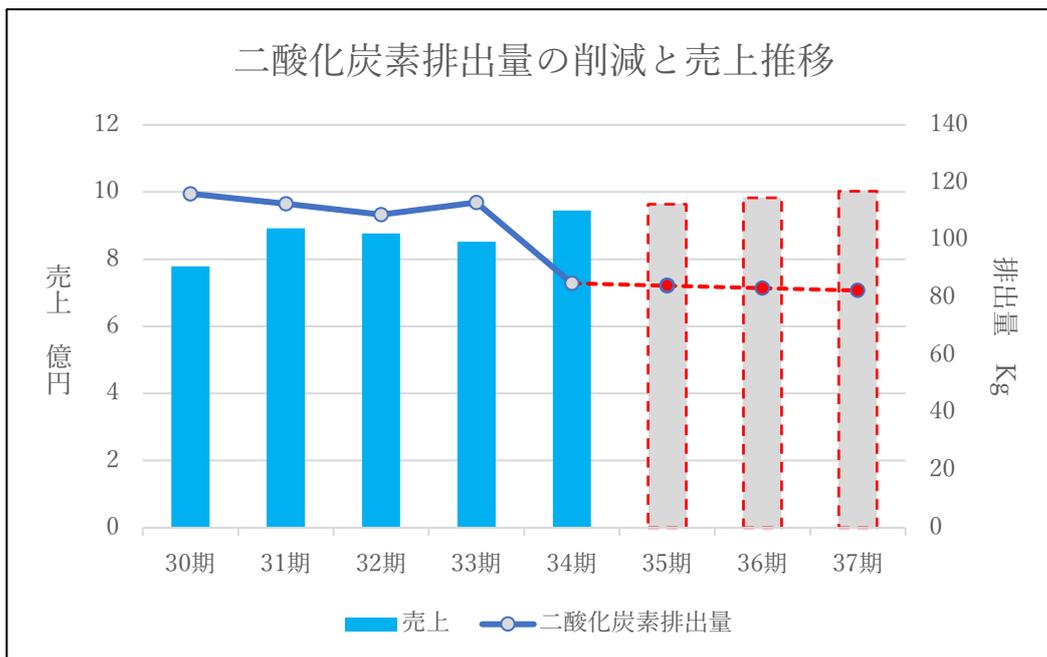
環境経営 目標	基準値	今年度経営目標 第34期				中長期の目標		
	第33期	2023年11月～2024年10月				第35期	第36期	第37期
	実績	目標	目標値	実績	達成 状況	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	113.01	第33期 に対して 1%削減	111.88	84.95	目標に対して 24.1%削減	第33期 実績に対して2% 削減	第33期 実績に対して3% 削減	第33期 実績に対して4% 削減
廃棄物排出量の削減 (kg ² /百万円)	118.61	第33期 に対して 1%削減	117.42	62.52	目標に対して 47.31% 削減	第33期 実績に対して2% 削減	第33期 実績に対して3% 削減	第33期 実績に対して4% 削減
水使用量の削減(m ³ /百万円)	0.46	第33期 に対して 1%削減	0.46	0.48	目標に対して 2.81%増 加	第33期 実績に対して2% 削減	第33期 実績に対して3% 削減	第33期 実績に対して4% 削減
化学物質の削減(kg/百万円)	0.36	第33期 に対して 1%削減	0.36	1.06	目標に対して 49.51% 削減	第33期 実績に対して2% 削減	第33期 実績に対して3% 削減	第33期 実績に対して4% 削減
自社製品(環境 配慮機器)の 製品サービス (売上高)	85,222 万円	第33期 に対して 1%増加	86,074 万円	94,462 万円	目標に対して 10.8%増 加	第33期 実績に対して2% 増加	第33期 実績に対して3% 増加	第33期 実績に対して4% 増加

※電力排出係数:0.441(調整後)東京電力エナジーパートナーR2年実績(R4.7.14 環境省、経産省公表)

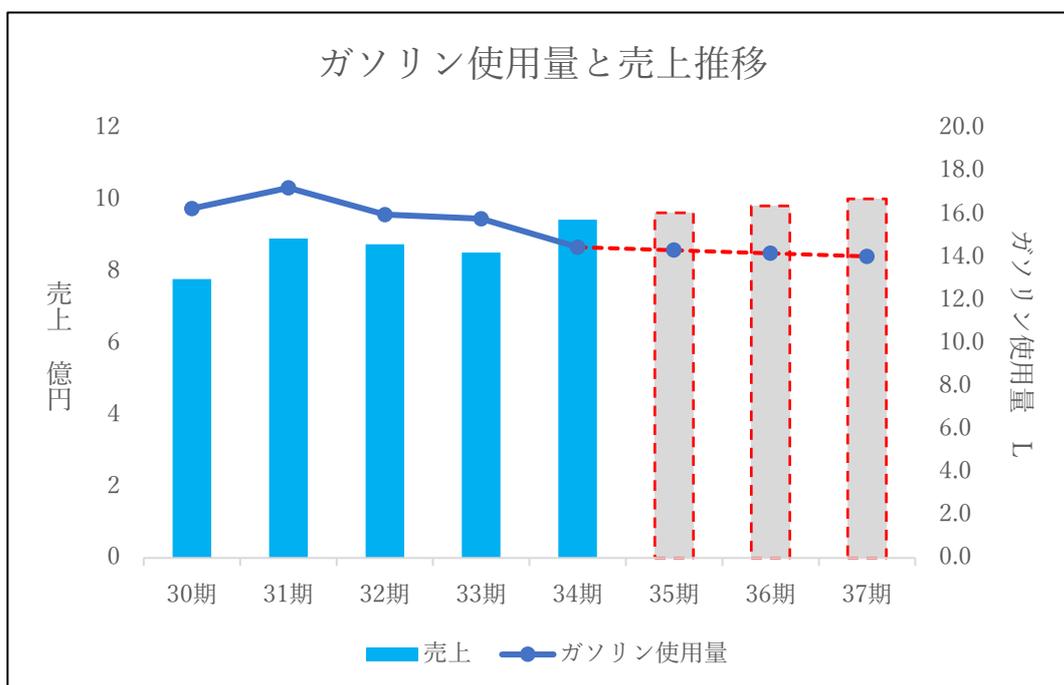
※主な環境負荷実績(総量)

環境への負荷	第33期	第34期
① 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	96,307	80,195
② 廃棄物排出量(kg)	101,081	59,059
③ 水使用量(m ³)	394	449

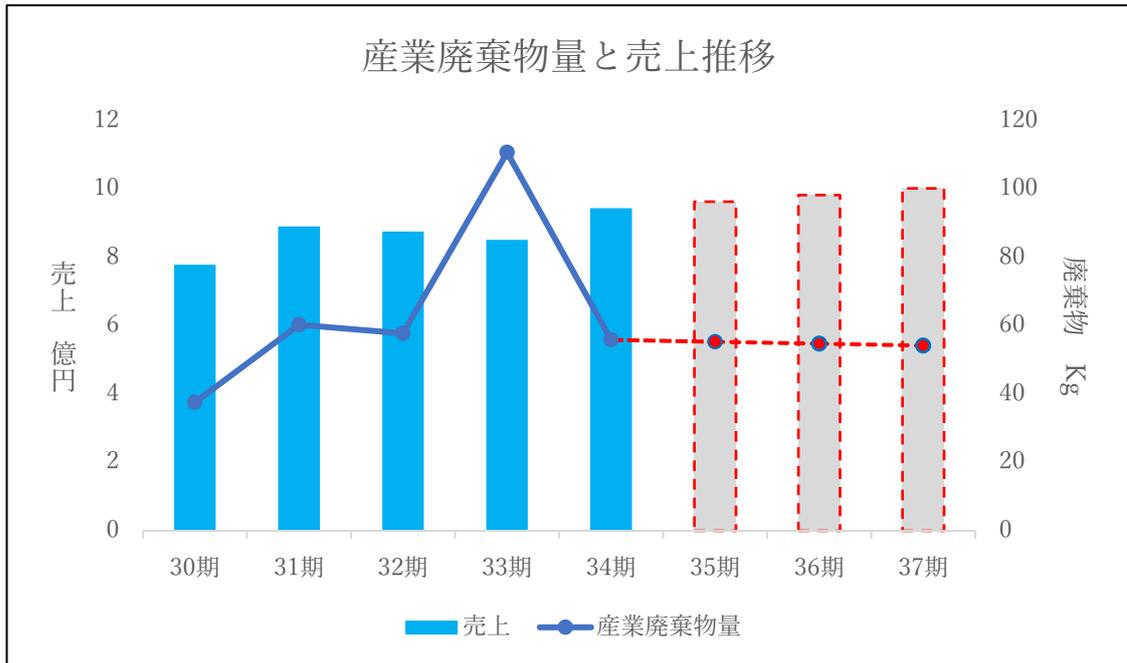
⑤目標の実績と今後の推移 グラフ



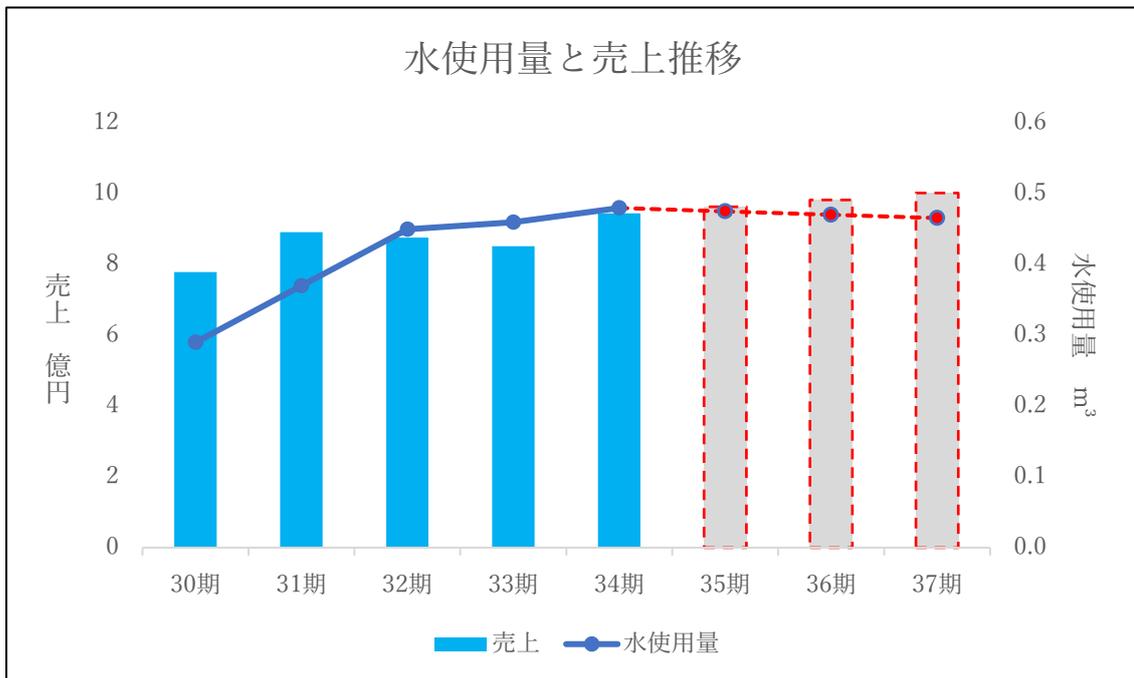
自家消費用の太陽光発電を導入したことで大幅な削減となった。



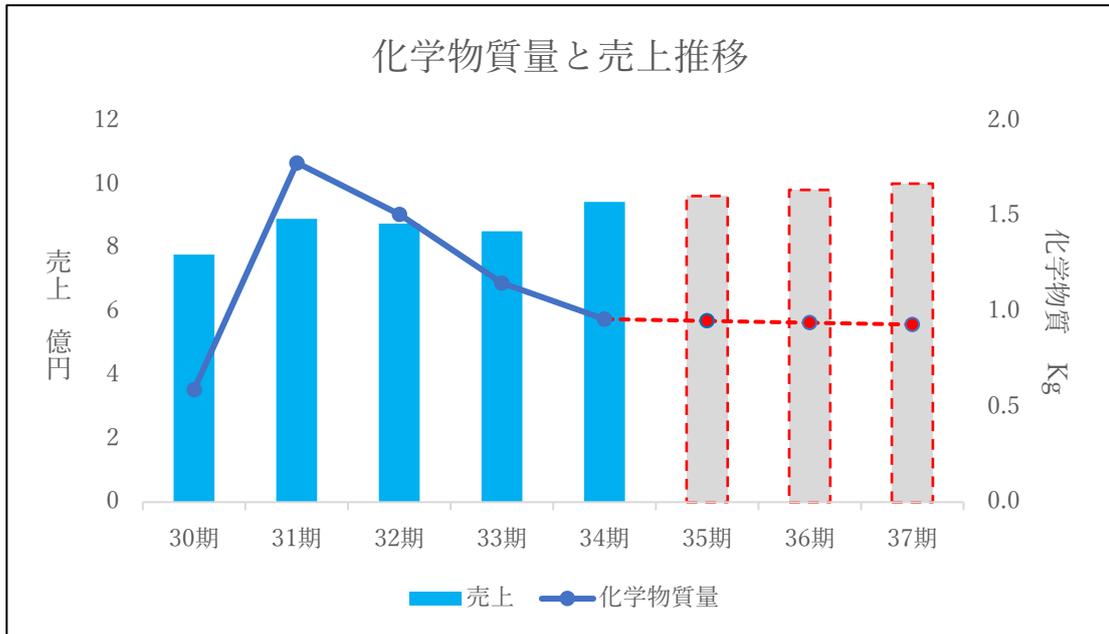
EV車の導入及び重機の稼働率低下(太陽光建設が一息ついた)により、削減に至った。



32期に対し、-3.4%の削減となった。(33期は構内工事の為、増加)



太陽光の発電効率を高める為、パネル洗浄を実施した為、水の使用量が増加した。



溶剤の管理(揮発しないように管理)の継続で効果が見られ





エコアクション 21 勉強会の様子(朝礼の場を利用し 2024 年 9 月 30 日から 2 週間実施)

⑥当社の太陽光発電所の稼働状況

第 34 期における太陽光発電の実績は、1642.4 万 kWh であり、年間 10,675t の二酸化炭素排出削減に貢献しています(1kwh 当たり 0.65kg の二酸化炭素排出削減として算出)。日本の 1 世帯あたりの年間の電力消費量は、平均で 4,175kWh であり約 3,900 世帯の電力を賄う事になります。

また、杉の木の二酸化炭素吸収量に換算すると 186 万 6300 本に相当します(杉の木 1 本の年間二酸化炭素の吸収量を 8.8kg/本として算出)。

日 時	発電量 kWh
2023/11/1	1,338,568
12 月	1,183,764
2024/1/1	1,245,661
2 月	1,334,413
3 月	1,353,518
4 月	1,522,211
5 月	1,482,294
6 月	1,646,224
7 月	1,359,921
8 月	1,551,242
9 月	1,366,050
10 月	1,040,163
合計	16,424,029

⑦環境経営計画の取組と評価

計画の具体的な実施	取組みと評価
<p>①二酸化炭素の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社で太陽光発電を行い、電力を賄う。 ・EV車へ切り替え推進。(リーフ8台 サクラ1台) ・EV車による蓄電(V2H)で電力供給。 ・ガソリン使用量の削減について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で太陽光発電した電力を前橋センターの電力として賄ったために約60%の削減ができた。 ・EV車へ切り替え推進(リーフ8台 サクラ1台)によりガソリンの使用量を削減した。EV車による蓄電(V2H)で電力供給。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電を継続し、新規の太陽光発電を開拓する。 ・継続的に節電、ガソリン使用量の削減に取り組む。
<p>② 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物のリサイクル:分別強化 ・ペーパーレス化:ディスプレイ2画面化 ・及びチームワークエンジンの活用 ・印刷コスト表示 ・FAX受信データの電子データ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物は廃棄物のリサイクル分別の強化及びディスプレイ2画面化によるペーパーレス化等により6.2%削減することができた。 ・産業廃棄物は、昨年前橋センター敷地内のカーポート整備により、廃棄物が発生したが、今年は例年の発生量となった。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物は廃棄物のリサイクル分別の強化とペーパーレス化等を継続する。
<p>③ 水使用量の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水表示を各所に設置(啓蒙活動)。 ・使用量確認(啓蒙活動)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水表示を各所に設置(啓蒙活動)や使用量確認(啓蒙活動)を推進した。 ・今年は、太陽光発電所のパネルの水洗浄(発電効率UP)の為に2.8%と増加した。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水の啓蒙活動を継続する。
<p>④化学物質の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶剤管理の徹底(揮発しない様に管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ・溶剤管理の徹底(揮発しない様に管理)と化学物質を使用する製品の生産ロットを大きくしたので約50%削減することが出来た。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶剤の揮発防止管理方法を継続する。
<p>④ 環境配慮機器)の製品サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電所の増設 ・安心カンカンの拡販 ・回収機の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電事業等の伸長により10.8%増加した。 <p style="text-align: center;">次年度の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電を継続し、新規太陽光発電の開拓を模索する。 ・フロン回収機事業部における新規顧客の開拓を模索する。 ・安心カンカン事業部における新規顧客の開拓を模索する。

⑧ 環境関連法規などの遵守

登録簿更新日 2025年1月17日

承認 阿久津 作成 樺澤

法規制等名称	要求事項	遵守状況
NOx・PM法	ディーゼル車の規制地域乗り入れの場合条例の遵守	遵法
浄化槽法	定期点検年4回の実施 法定11条検査年1回の実施 汲み取り年1回の実施	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	契約書・許可証の適切な管理 マニフェスト交付及び保管 マニフェスト交付状況報告(行政報告) 廃棄物の保管場所の表示	遵法
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質の使用量及び移動量の管理 化学物質の情報(SDS)の受理 化学物質管理者の選任	遵法
消防法	廃油の適切な管理 火災報知器の設置 誘導標識の設置	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検 4回/年の実施と記録の保管 定期点検 1回/1年の実施と記録の保管 第一種フロン類充填回収業者登録	遵法

違反・訴訟等の有無

対象期間中の当社に適用される環境関連法規について、違反はありませんでした。

対象期間(第34期(2023年11月~2024年10月))

⑨ 代表者による全体評価

エコアクションの取り組みにおいて転機となる年でした。

作業場・事務所・仕事効率向上活動のスタート、健康優良法人取得など体制強化を図る為の抜本的な見直しを開始しました。

活動により、社員間の連携をスムーズに行え、売上も前年を更新し、地域貢献にもつながっていると考えています。

当社の環境事業への取り組みは実質的に社会の環境保全に貢献・寄与しているものと考えております。

今後も環境経営方針に基づく事業活動を展開するとともに、環境経営活動の計画項目を確実に実施することで、社会への環境保全に貢献して参ります。



社屋 太陽光設置(自家発電)

消防訓練の様子



メディア出演



ホームページ